

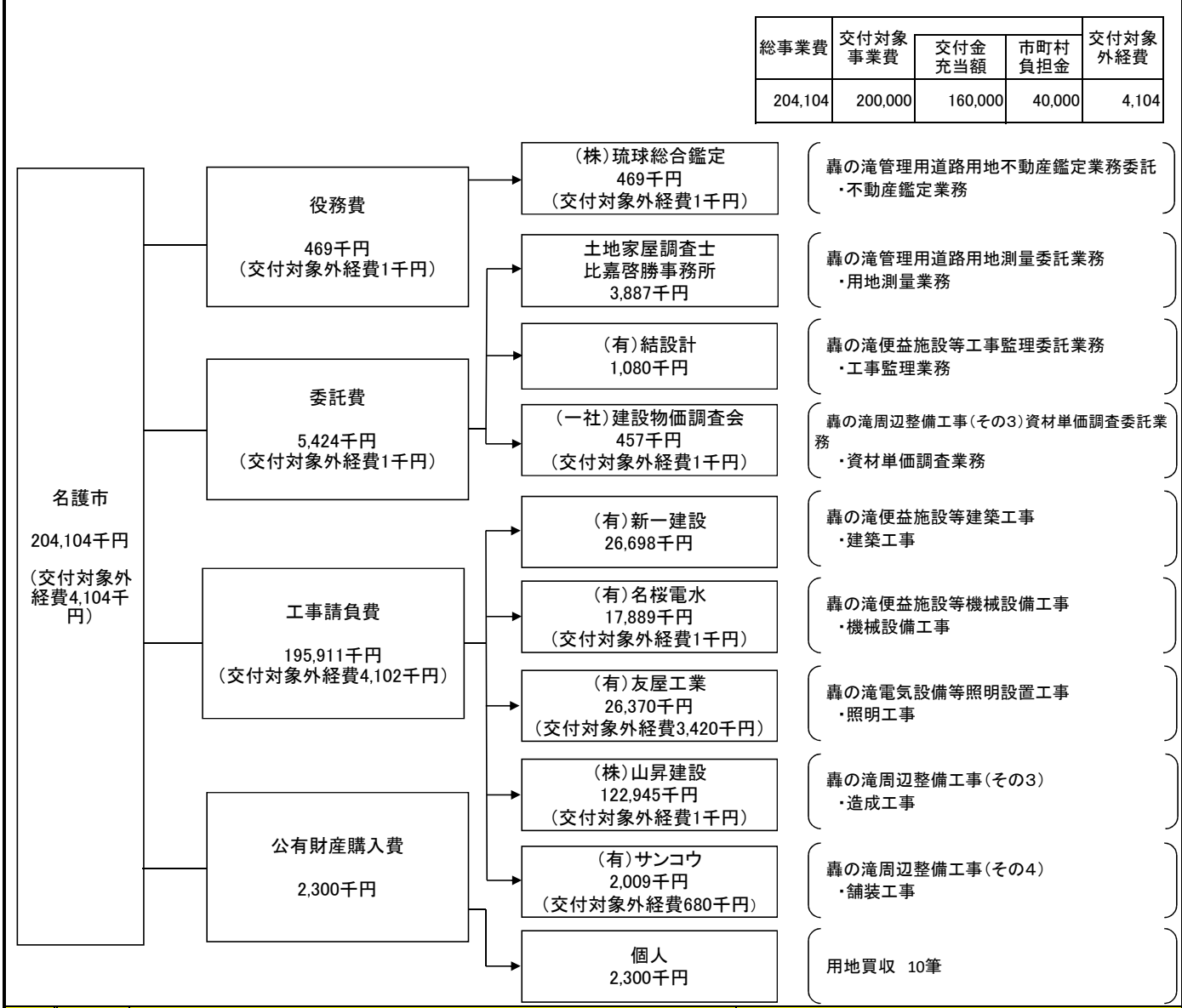
市町村名		名護市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	轟の滝周辺整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ		
担当部署名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力ある観光スポットを活用し、まちの活性化、観光振興に繋げるため文化財である轟の滝周辺を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(30 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	
		(a)当初予算額	—	168,000	—	180,000	—
	(b)予算現額	—	168,000	—	200,000	—	
	(c)増減額(b-a)	—	0	—	20,000	—	
	(d)繰越額	46,777	—	70,126	—	21,394	
	A.計(b+d)	46,777	168,000	70,126	200,000	21,394	
	B.執行済額	46,755	97,874	70,126	178,606	21,394	
	うち交付金充当額	37,404	78,299	56,101	142,884	17,116	
	次年度繰越額	—	70,126	—	21,394	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	58.3%	100.0%	89.3%	100.0%	
予算の状況の説明	平成29年10月に襲来した台風22号の豪雨により沖縄県が管理する轟川が増水し、整備箇所に隣接する下流側の民家の擁壁が傾く事態が生じた。沖縄県が発注する復旧工事の進入路が当事業区域内を通行するほか手段がなく、復旧工事が完了するまで着手できない箇所が生じたため、年度内に工事の完了が困難となり繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	・用地取得10筆 ・委託業務4件 (資材調査、工事監理業務、用地測量業務、用地鑑定業務) ・工事5件 (土木3件、建築1件、機械設備1件)	目標 ()	・委託業務6件 ・整備工事2件 ・用地買収10筆 実績 ・委託業務3件 ・整備工事1件 ・用地買収0筆	・委託業務4件 ・整備工事5件 ・用地買収10筆 ()	()	()	
達成状況説明	委託業務4件は、不動産鑑定業務(1件)、用地測量業務(1件)、工事監理業務(1件)、資材単価調査業務(1件)を実施した。 工事は建築工事(1件)、機械設備工事(1件)、滝周辺の整備工事(3件)を実施し、整備を完了した。 用地買収は管理用道路用地10筆を取得した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(平成30年度)	
	・管理用道路に必要な用地取得 ・土木工事、建築工事の完了	目標	(—)	・用地取得100% ・建築工事完了 ・整備工事完了			(—)
		実績		・用地取得100% ・建築工事完了 ・整備工事完了			
	【参考指標】 ・年間入場者数26千人 (平成30年度は8.5千人(4ヶ月間))	目標	(—)	(—)			(8.5千人)
		実績		—			
進捗状況説明	・轟の滝周辺整備については、平成30年度5月末で施設の主たる部分の整備を完了し、平成30年12月より供用が開始されている。また、繰越理由となっていた河川災害の工事に係わる部分も平成31年3月に整備完了した。 ・来場客数については、平成30年12月から3月までの目標値を8,500人とする。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(轟の滝周辺整備) ・施設の完成により、文化財である轟の滝周辺を観光スポットとし整備することが出来た。今後、まちの活性化、観光振興に繋げるために、この施設を活用していく取り組みが必要となる。	(轟の滝広場への来場者数) ・イベントの開催や情報発信の強化により広報活動を行い、更なる来場者数の増に繋げる。
	(轟の滝広場への来場者数) ・繰越後は計画通り整備を完了し、施設をオープンすることができた。概ね見込んだ通りの来場者数となった。今後は目標値達成のため、誘客についての取組が必要となる。	

今後の取り組み方針

(轟の滝広場の来場者数)
 ・施設を活用したイベントや体験学習の開催。来場者のニーズを把握し満足度を上げられるよう、来場者にアンケート調査の実施。
 ・観光施設へのパンフレット設置やSNS等による情報発信を実施し、継続的にPR活動を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者、工事請負業者は指名競争入札により適正に選定及び執行された。 ○予算規模は事業の活動内容に応じた基準(積算基準、損失補償基準)により額が算出され、適正であった。 ○費目・用途については、事業の活動内容に即し限定されているか額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市
------	-----

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥	観光地周辺環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	地域政策部 商工観光局	事業実施(予定)年度	平成29年度	観光客受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容 市内観光地であり、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の環境整備として公衆トイレを整備し、観光客の利便性と満足度を高める。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	19,929	—		
		(b) 予算現額	19,929	—		
		(c) 増減額(b-a)	0	—		
		(d) 繰越額	—	17,222		
		A. 計(b+d)	19,929	17,222		
		B. 執行済額	2,707	17,147		
		うち交付金充当額	2,165	13,718		
		次年度繰越額	17,222	—		
		執行率(%) (B/A)	13.6%	99.6%		
		予算の状況の説明	平成29年度は設置場所の再検討の要請があり、区との調整に不測の日数を要した。また、工事請負事業者の入札を2回実施したが、不調に終わったため、工事期間を鑑み、平成30年度に繰越し対応とした。本事業は、平成30年度内に工事を完了。			

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		公衆トイレ設置工事(1棟)	目標 (設置工事)	()	()
	実績	設置工事			
達成状況説明	活動目標のとおり、公衆トイレの設置工事に取り組んだ。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)	
		目標	()	(工事完了)	()	()	()
		実績		工事完了			
		【参考指標】市内観光施設入込客数目標	目標 (—)	(—)			(5,501千人)
	実績		—				

進捗状況説明 工事完了まで年度を繰越すこととなったが、工事を完了することができた。

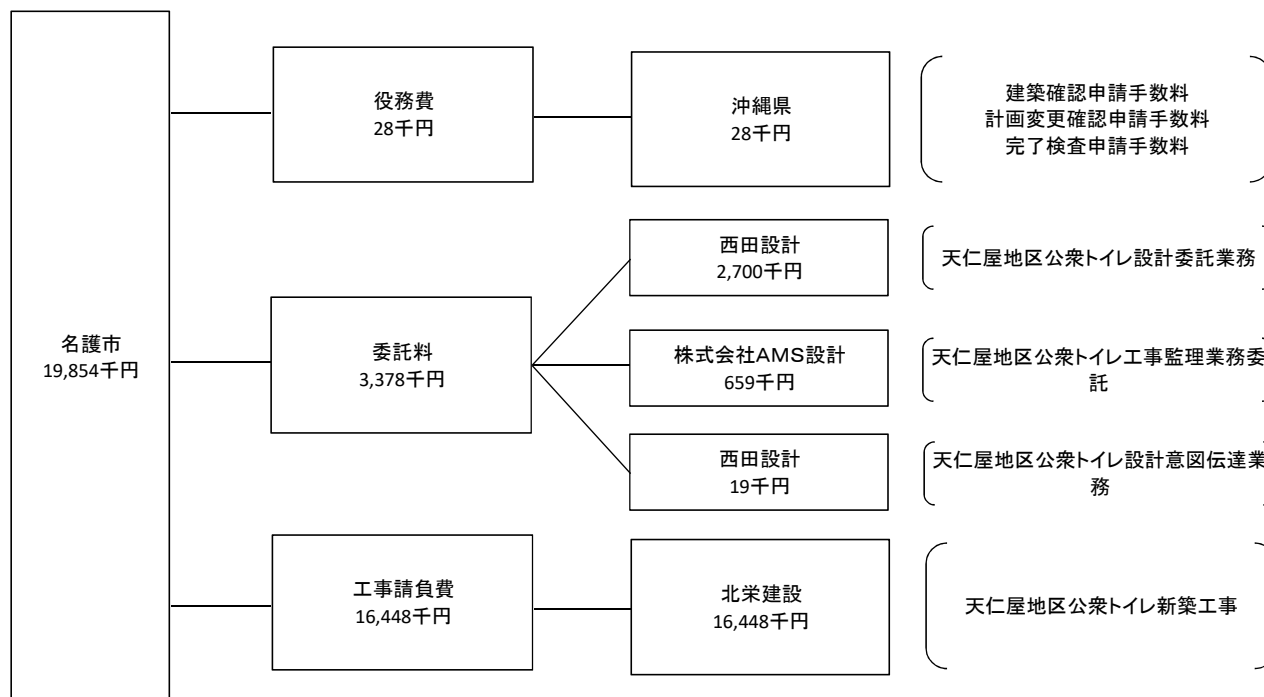
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市の観光地であり、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の周辺にはコンビニや観光客が気軽に利用できるトイレが無く、今回の事業で公衆トイレを整備したことで観光客の利便性向上を図る事が出来た。今後は観光誘客を図る取り組みを強化し更なる観光振興を目指す。</p>	<p>教育委員会や観光協会と連携し、観光パンフレット、HP等で「嘉陽層の褶曲」の情報発信を行い観光客の集客強化を図る。 また、331号線沿いにトイレ「嘉陽層の褶曲」があることを知らせる看板を掲げるなど東海岸地域を移動中の観光客へのアピールを行う。</p>

今後の取り組み方針

国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」を幅広く周知するため観光施設へのパンフレット設置やとHP等による情報発信を実施し、継続的なPR活動を行い地域の観光振興につなげる。また、331号線沿いに「嘉陽層の褶曲」があることを知らせる看板を掲げるなど東海岸地域を移動中の観光客へのアピールを行い集客強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,854	19,854	15,883	3,971	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

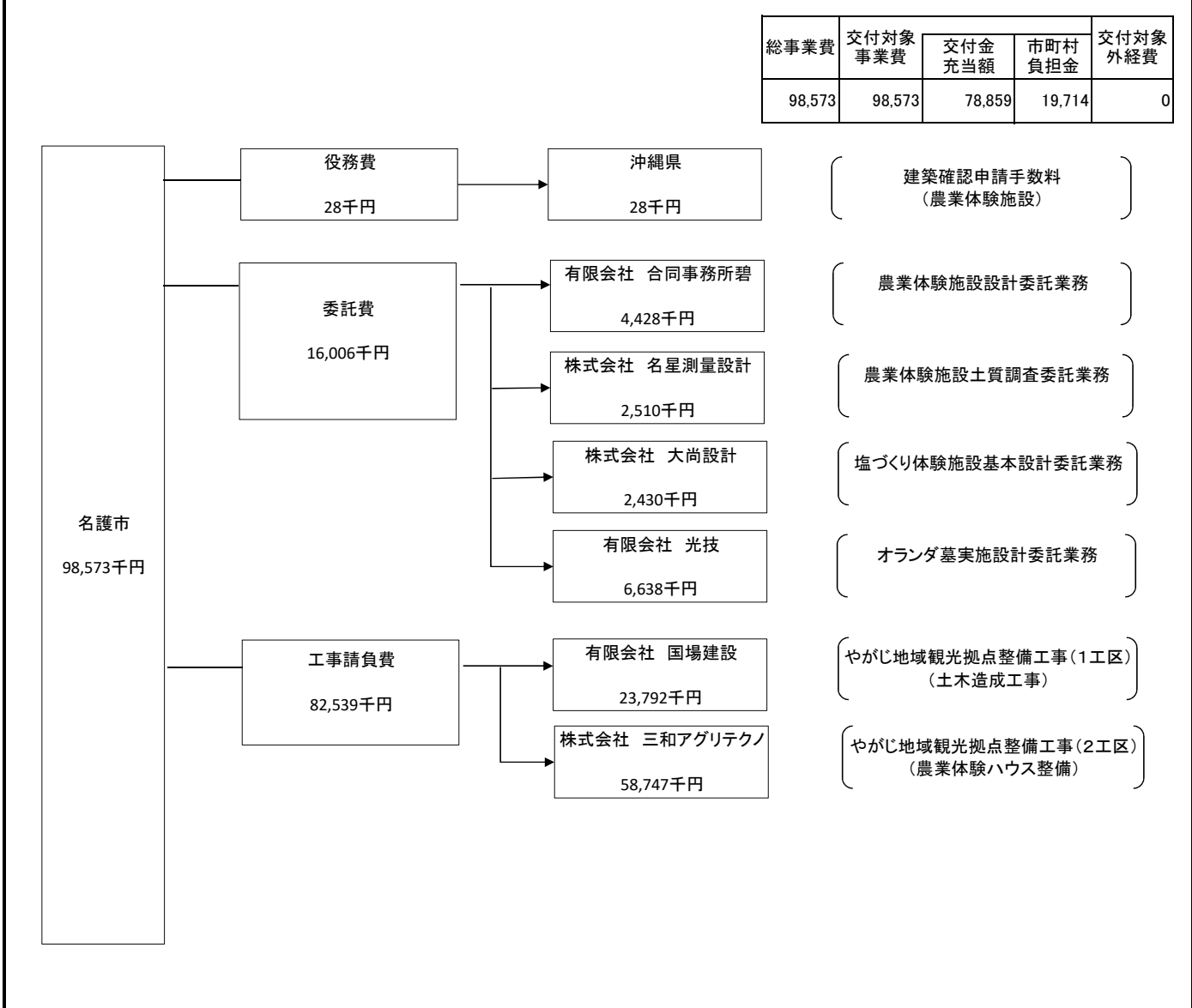
市町村名		名護市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦		やがじ地域観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-オ	
	担当部署名	地域政策部 屋我地支所		事業実施(予定)年度	平成28~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	産業間連携の強化 III-9
事業内容	修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備に向け設計業務並びに工事を実施。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	5,000	130,228	-		
	(b)予算現額	5,000	99,676	-			
	(c)増減額(b-a)	0	▲30,552	-			
	(d)繰越額	-	-	52,854			
	A.計(b+d)	5,000	99,676	52,854			
	B.執行済額	4,860	46,822	51,751			
	うち交付金充当額	3,888	37,457	41,402			
	次年度繰越額	-	52,854	-			
	執行率(%) (B/A)	97.2%	47.0%	97.9%			
予算の状況の説明	工事並びに委託業務において関係者との調整に不測の日数を要し年度内完了が困難となったことから、52,854千円を平成30年度に繰越した。 不用額1,103千円については、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	オランダ墓アクセス通路 実施設計 出荷選別体験施設 実施設計	目標	(基本計画の策定)	(実施設計)	()	()	
		実績	基本計画の策定	実施設計を実施			
	塩づくり体験施設 基本設計	目標	()	(基本設計)	()	()	
		実績		基本設計を実施			
	ビニールハウス整備	目標	()	(ビニールハウス整備)	()	()	
実績			ビニールハウス整備の実施				
達成状況説明	平成28年度に事業全体の基本計画を完了し、平成29年度にオランダ墓アクセス通路実施設計、塩づくり体験施設基本設計、出荷選別体験施設実施設計、ビニールハウス整備を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	オランダ墓アクセス通路実施設計の完了 出荷選別体験施設実施設計の完了	目標	()	()	(実施設計の完了)	()	()
		実績			実施設計の完了		
	塩づくり体験施設基本設計の完了	目標	()	()	(基本設計の完了)	()	()
		実績			基本設計の完了		
	ビニールハウス整備の完了	目標	()	()	(ビニールハウス整備の完了)	()	()
		実績			ビニールハウス整備の完了		
【令和2年成果目標】 修学旅行受入数	目標	()	()	()	()	(100校)	
実績							
進捗状況説明	平成28年度に事業全体の基本計画を完了し、平成29年度にオランダ墓アクセス通路実施設計、塩づくり体験施設基本設計、出荷選別体験施設実施設計、ビニールハウス整備を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後の施設整備を進めていく上で、岩礁波砕の申請や自然公園保護法に関する申請など多くの法的手続きが必要となる。また、施設整備に伴い物件補償や用地取得に向けた地権者との調整も必要となる。	法的手続きについては時間を要することが想定されるため、審査機関等との事前調整を早めに行うことや、物件補償や用地取得などについては、交渉をスムーズに推進するため、区長など地元と詳しい方などと連携を図り進め、円滑な事業の執行を行う様に取組む。

今後の取り組み方針

H29年度事業により実施した内容を基に、H30年度事業として出荷選別体験施設の施設整備、塩づくり体験施設については実施設計を行う。またオランダ墓アクセス通路整備については、実施設計により物件補償が必要となることから物件の補償調査を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、事業目的を達成するために必要な役務費・委託費・工事請負費であり、適正であった。 ○費目・用途については事業完了後に検査・検収を行い、適正に実施されていることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	